

東葛しぜん観察会

ワラで楽しく作るお正月飾り

三角紀久子（流山市）

日 時：2025年12月20日（土）10時～12時30分

場 所：21世紀の森と広場 パークセンター2F（松戸市）

参加者：20名 指導員 10名 パーク協力者 3名

担当指導員：草野 渋谷 三嶋 三角

21世紀の森と広場パークセンターとの共催で「ワラで楽しく作るお正月飾り」を4年ぶりに再開しました。コロナ禍で中止をしていた人気の体験型講座です。

初めにお正月にゆかりのある植物の紹介と謂われについてお話して、ユズリハ、ウラジロ、赤い実をつけた万両、千両、十両（今年は百両が見つからなかった）竹筒に入れた南天の実物を見ていただきました。また参加者の皆さんに各自、自由な発想で作っていただく参考になればと準備会で作ったお正月飾りの見本や色々なお飾りのパーツ見本も展示しました。参加者は先にワラを緋う班とお飾りを作る班に分かれて作業開始です。ワラは担当指導員が松戸市内で育てた「マンゲツモチ」というもち米の稲を刈り、干して束に整え前日から湿らせたものです。ヒモで縛ったワラの根元を両膝に挟み力を入れながら左右の手でよりながら緋うという作業に最初は悪戦苦闘の様子ながらも、応援の指導員からの声掛けやサポートで無事にしめ縄が完成しました。

お飾りは、松葉、赤の水引、扇面のお正月ピックと自然観察会ならではの松ぼっくり、フウノミ、シダーローズを各々組み合わせてパーツを作り、輪にしたしめ縄の好きな位置に取り付けました。最後によく実った稲穂を刺して完成しました。

アンケートには「ワラを緋うのは難しかったけれど、自然のものも使った自分だけのお正月飾りが出来て満足です」「良い年が迎えられそう」との感想が多く寄せられました。材料の確保や各種見本作り、宿題のワラ緋い練習、より分かりやすい「ワラ緋い法」と「お飾り作り」のマニュアル作成と準備は多岐に亘りましたが、参加の皆さんのあふれる笑顔を見て担当一同感無量でした。色々とお世話いただいたパークセンターの担当者とお手伝いいただいた指導員の皆様に感謝申し上げます。



稲ワラでワラ緋いリース作り



お飾りを工夫しながら組立て



ワラのリースとお飾りを組立て完成